



©2005 石塚真一小学館

第 335 号(令和6年(2024 年)4月4日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～第 13 回信州登山案内人試験を実施します～

登山の知識・技術に加え、長野県の山岳の歴史等に関する知識を備えた山岳ガイドである「信州登山案内人」の試験を実施します。

受付期間: 令和6年4月1日(月)～22日(月) 事前説明会: 令和6年5月10日(金)

筆記試験: 令和6年6月7日(金) [場所]長野県大町合同庁舎5階講堂

実技試験: 令和6年6月8日(土) [場所]長野県山岳総合センター人工岩場

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/tozan/shiken.html>

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

を確認し万全の準備で入山を!

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

3月4週は、中央アルプスに単独で入山後、行方不明となる山岳遭難が1件発生しています。

中央アルプスでは3月に入ってから、これを含めて3件の行方不明遭難が発生しており、いずれも発見となっていません。

冬季の単独登山は様々なリスクを伴います。計画しているルートが自身の経験や力量に見合っているかしっかりと検討をしましょう。また、入山前に最新の気象情報を必ず確認しましょう。冬季は積雪や凍結等、ルートの状況によってコースタイムが大幅に変わります。ゆとりを持った計画を心掛けてください。

地図アプリを活用することで自身の現在地を正確に把握することができます。残りの行程や疲労度等を考慮して引き返す判断にも有効です。紙地図と併用して有効に活用しましょう。また、地図アプリは軌跡情報を記録しているため、いざという時は捜索救助活動にも非常に役に立ちます。



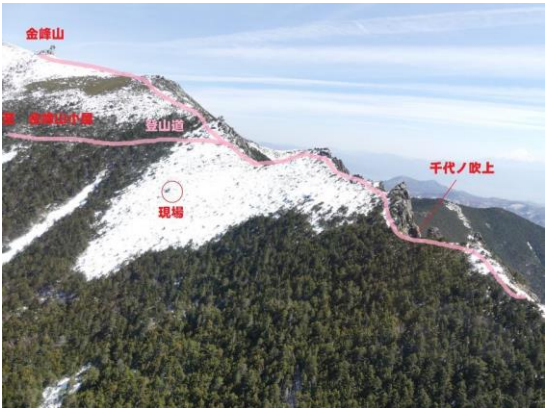
3月5週は、県内で3件の山岳遭難が発生しました。

ハケ岳で発生した遭難は、バリエーションルートを登山中に同行者とのコミュニケーション不足により、1名が滑落して負傷し、もう1人は行動不能となりました。県警ヘリコプターが出動するも現場周辺の気流が安定せず、当日の救助を断念して遭難した2名はその場でビバークをしました。翌日の早朝に県警ヘリコプターで救助となっています。バリエーションルートは一般ルートと違い、自分自身でルートを切り拓いていく楽しさがあり、登り切った後の達成感は一般ルートでは味わえないものだと思います。ですが、バリエーションルートでのわずかな気持ちの隙、小さなミスは大きな遭難につながってしまいます。日々、自分自身の実力を向上していただき、実力に合ったルート設定と準備、同行者との意思疎通等をして、最後まで気を抜かずに挑戦をお願いします。特に、ロープで確保が必要な場合は、お互いにコミュニケーションがしっかりと取れるようにしましょう。

ビバークセットは携行していますか。防寒具やツェルト、食料、飲料水、ガス等…、これらのビバークセットは軽量化を理由に安易に抜いてしまうと、救助隊が到着するまで体力を維持することができません。また、せっかく準備しても使用方法を熟知していなければ役に立ちません。準備をしたビバークセットの使用方法は、入山前に使ってみることが非常に重要です。いざというときの備えを抜かりなくお願いします。

長かった冬も終わり、暖かい地域では桜の便りも聞こえる季節となりましたが、長野県内の標高が高い2000mから3000m級の山はまだまだ冬山です。これから登山を計画されている方は、入山前に冬山装備品の準備を入念にお願いします。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月24日	中央アルプス木曾駒ヶ岳	男	46	行方不明	対応中	単独で木曾駒ヶ岳に入山し、行方不明
3月27日	八ヶ岳連峰赤岳	男	53	負傷	滑落	2人パーティで赤岳主稜を登山中、滑落、負傷
						
3月27日	八ヶ岳連峰赤岳	男	27	無事救出	その他	2人パーティで赤岳主稜を登山中、技量不足により、行動不能
						
3月30日	金峰山	男	24	負傷	滑落	単独で金峰山に向けて登山中、足を踏み外して、滑落、負傷
						

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月31日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	51	8	3	14	34	59	25
内)バックカントリー	22	2		4	22	28	6
内)単独登山	17	3	2	3	9	17	8
令和5年(2023年)	48	7	2	24	24	57	33
前年同期比	+3	+1	+1	-10	+10	+2	-8
内)バックカントリー	+7	-1	-2	-2	+13	+8	-5
内)単独登山	-3	+1	+2	-5	-1	-3	-2

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	2	3.9%	0	0	1	1	2
	後立山	15	29.4%	2	0	4	14	20
	その他	2	3.9%	1	0	1	1	3
	計	19	37.3%	3	0	6	16	25
中央アルプス	6	11.8%	1	3	2	2	7	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	15	29.4%	3	0	5	7	15	
その他の山岳	11	21.6%	1	1	1	9	12	
計	51		8	3	14	34	59	

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	10	19.6%	1	1	8	0	10
転倒	3	5.9%	0	0	3	0	3
病気	1	2.0%	0	0	0	1	1
道迷い	15	29.4%	0	0	0	19	19
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	5	9.8%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	11.8%	3	0	0	3	6
不明・他	11	21.6%	2	2	1	8	13
計	51		8	3	14	34	59

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～3月31日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	1	2	20 40.8%	0	0	0	1	1	3 30.0%	3	23 39.0%
20代	0	1	3	5	9		0	0	0	2	2		11	
30代	1	0	1	7	9		0	0	0	0	0		9	
40代	3	1	2	4	10	26 53.1%	0	0	0	2	2	7 70.0%	12	33 55.9%
50代	3	1	4	8	16		0	0	3	2	5		21	
60代	1	0	0	2	3	3 6.1%	0	0	0	0	0	0 0.0%	3	3 5.1%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	8	3	11	27	49		0	0	3	7	10		59	
比率	83.1%						16.9%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝